

2020年度 第3回広報委員会 議事録

日 時 2020年9月10日(木) 13:30～17:00
 会 場 WEB 会議
 出席者 11名

(敬称略)

代協	委員名	代協	委員名	代協	委員名
沖縄	野原 早織	東京	○ 大和 親英	高知	都築 弘典
北海道	姫野 芳安	愛知	橘 恭浩	鹿児島	○ 田中 拓
神奈川	酒井 錦吾	奈良	辰巳 嘉敏		

<担当副会長> 横山 健一郎 <事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:大谷 隆(記)
 <オブザーブ> 新日本保険新聞社 金井次長、日本代協ムービー制作チーム

：委員長、 ：副委員長

< 委員会での決定事項 >

- ・昨年取り残し分の代替はインプリメント社による「Zoom 勉強動画」に充当する。
- ・「みなさまの保険情報」活用推進に向け、再度ブロック協議会で発信する。おしらせチラシは姫野さんが担当。
- ・PR 企画の投稿フォームへの入力締を 18 日に設定し再度案内する。

議 事

・挨拶

1. 野原委員長挨拶

- ・前回は 6/18、その後ユーティワイ企画との打合せを 8/20 に開催して以来ですが、皆さんお元気でしょうか。その間お盆・コロナ・九州では台風 9・10 号が連続して接近してきて、本土では猛暑が続き大変な時ですが、くれぐれも体調に気を付けて下さい。
- ・コロナ禍でリモートワーク、オンラインセミナーがかなり充実してきており週1ペースでセミナー受講し勉強しています。
- ・PR 動画作成もリアルでお会いして進めることができず、電話・メール等やりづらい点多いですが、今年度も良い動画を作成したく、後程皆さんから意見をいただきたいです。
- ・本日も、中身の濃い内容となっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に田中副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項

1. 報告事項

(1) 第3回 理事会報告

- ・7月10日に開催された、第3回理事会の決議事項を議事録にて確認した。

(2) 第1回 活力研報告

- ・9月4日に開催された、第1回活力研の内容を議事録にて確認した。

(3) 前回委員会の振り返り

- ・前回の広報委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

- ・昨年度企画の取り残し(YouTube への3本の動画作成)について、今年度新たに作り直すことを検討していたが本日午前に正副委員長で打合せを行いました。
- ・今 Zoom での打合せが増えているので広報委員会で Zoom の活用を勉強して各代協に展開できたら自分たちのスキルアップにもつながるのではないかと思い、この取り残し分を Zoom を学ぶという動画作成に変えてはどうかとなりました。
- ・動画の作成は、昨年の業者であるインプリント社 木村さんに引き続きお願いしたい(木村さんとは東京代協と Zoom の活用等指導の年間契約を締結している)。
- ・インプリント社には承諾を得ていないので確認後 direct で報告します。

・審議事項

1. 「みなさまの保険情報」保険の推進

(1)2021年1月号 企画案

- ・新日本保険新聞社の金井次長より、「みなさまの保険情報」2021年1月号の企画案が提示された。1面の保険業界のテーマについて、以下の3案が提示された。

「冬のさまざまな事故やリスクの予防について」

「各種の自然災害への備えへの呼びかけ」

・「オンラインシステムの活用の注意点」

(主な意見)

- ・個人に配ることが多いので、自然災害への備えが関心高いのではないか。
- ・1月号だから風水害は時期的に外れるので雪害に触れるのがいいのではないか、また、2021年は東日本大震災から10年であり、広報委員として作成しているPR動画とも連動するので地震への備えに触れてもいいのではないか。
- ・PR企画の動画と連動するので地震に特化させたらどうか。

他意見無く、案をベースに現在作成中のPR動画「あれから10年」の資料一部を掲載し、連動させた内容とすることで決定。

- ・2021年の2面以降のテーマにつき以下提案があり意見無く提案内容で決定。

2面：消費者に役立つ保険関連情報「交通安全シリーズ」

3面：事業者に関わる保険情報「労務・労災リスクについて」

4面：消費者に関わる身近な話題・情報「健康に関わるストレッチ」

(2)今後の推進

- ・10月号の購入状況と購入率を確認した(5%目標に対し4%)。
- ・まだまだ会員の中では「みなさまの保険情報」が浸透していないのではないか
- ・(野原委員長より)お願いベースではなく内容をしっかり伝えることにより理解を得て購入推進するべきであり、改めてブロック協議会でしっかり内容を伝える活動をして下さい。
- ・紙媒体だけでなくPDFでの提供も可能であることを徹底する。

・次回お知らせチラシの執筆担当は 姫野委員であることを確認した。

2. 2020 年度 PR 企画進捗状況・課題の確認

投稿フォームへの入力目安を 10 日としていたが、各担当地域の進捗状況を確認した。

(田中副委員長)九州南・北

・九州 2 ブロックは 8 月に WEB でブロック会議が開催され両方出席し主旨説明、9 月に入り各広報担当者へ状況を確認したところ、全地区内容は決定しているので入力するのみとなっている。

(都築委員)中国・四国

・四国はブロック会議をリアルで開催したが少人数だったため、会長に今回の概要を説明するよう依頼した。中国ブロックには参加できず、十分な説明ができていない状況です。提出を確認しているのは、高知・鳥取。

(辰巳委員)阪神ブロック・近畿ブロック

・阪神ブロックは、兵庫・和歌山・大阪で事例が被らないように調整し入力済、近畿ブロックは、奈良は入力済、京都・滋賀には督促依頼してます。

・「災害に対してどのような取組みをしているか」との質問について他ではどのように回答しているか確認したい。

(酒井委員)南関東ブロック

・神奈川・山梨は事例の精査中(山梨は雪害、神奈川は入力待ち)

(橘委員)東海ブロック・北陸ブロック

・愛知・福井は着手しているが滋賀・岐阜・三重・石川が未着手と遅れているので督促します。愛知から直近 10 年での災害が無いので 20 年前の災害でも構わないか？

(大和副委員長)東京

・投稿フォームには入力済です(去年の台風 19 号での都市型水害につき入力)。

(姫野委員)

・北海道は胆振地震で入力しているが、東北ブロックではほとんど進んでおらず督促の連絡をしています。

・山形・青森は大規模な自然災害がないのでどうしたらよいか？

(農作物の被害は多くあるがそれだと共済の為の動画になってしまう・・・)

ユーティワイ企画よりこれまでの経緯・課題につき説明があり、その後今後の展開を討議した。

・8/24 各都道府県に趣意書を一齐メール発信、翌日に全会長にご挨拶の連絡を入れた(ほとんどが留守)、9/9 時点で 14 県が入力している状況で若干遅れ気味です。

・要因は締切指定が無かったので、日にち指定で再度案内したい。

広報委員と UTY 企画から再度締切の案内を行う、11 日メール発信、18 日(金)締切

・質問のあった 10 年以上前の災害については被害状況が把握できないことがありシナリオ作成に窮する、また、古過ぎる災害だと若者へのアピールに難があるがそれでも問題ないのであれば災害時期に制限かける必要はないです(当時の写真があると助かる)。

・プレゼンの際に提示した全国の災害事例を参照いただき、自然災害に限定せず例えば自動車死亡率ワースト地域などという事象でもいいと思います。

* 古い事例の写真を新聞の切り抜きから使用するのは著作権の問題があり厳しいので注意してください(yahoo 検索での画像も同様)。

- ・古い事例で写真がないような場合、場所の特定ができないようなものであれば注釈を入れることにより可能ではあるが、イラストは今回の企画に不適であるのでやめた方がよい。
- ・UTY 企画と各代協とのやり取り(シナリオ校正等)については広報委員が担当しているブロックにつき連携することとする。
- ・投稿フォーム内の「取り組みについて」どのような取り組みを記載したらいいのかとの質問が、数県から寄せられているが、最低限災害時の状況を記載していただければ、シナリオは作成します(社会貢献活動は今回の動画作成主旨から外れるので除いてください)。
- ・投稿フォームへ初回入力完了後は、ユーティワイ企画がシナリオ(案)を作成し再度修正依頼(ステップ2欄)をするので、1週間目処で確認・修正して下さい。
- ・Zoom セミナー開催はシナリオ完成している都道府県に案内します(2~3回開催予定)。
- ・オリジナルソングは制作中であり、まだ視聴はできません。
- ・正副会長の台本は野原委員長より正副会長に案内する。撮影はスマホでの撮影ではなくユーティワイ企画が直接撮影します。
- ・メイン動画の撮影につき、役者、10/2に石巻で撮影します。
- ・制作費の余剰(20万)については、voicyを活用することとします。

閉会・その他

1. 本日の到達点の確認

- ・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

2. その他情報提供

- ・酒井さん、橘さんの問題意識から「みなさまの保険情報」が、なんでこんなものがあるのか、ということ再認識して欲しい。そもそも、お客さまへの情報提供は大事であり、一番いいのはオリジナルニュースを定期的に提供できるのがいいが、労力がかかるものなので、それを肩代わりするのが「みなさまの保険情報」なのです。これからは、HPをしっかり作り上げ、そこに貼っていくとか、添付ファイルとして送信するとかの方法も増えていくだろうし、記事項目だけを提供してもらって、季節ごとにオリジナルで顧客に提供していくのもあるかと思えます。お客さまとの関係を強くするツールとしてどんなものがあるかを委員会で検討していくべきです。

- ・Zoom 活用については、広報委員が遅れてはいけないので委員会を通してインプリメント社木村さんに依頼してしっかり活用方法を身に付けて全国に発信してください。

3. 横山副会長閉会挨拶

- ・長時間にわたる熱心な論議お疲れさまでした。
- ・台風9号・10号と大変な状態だったと思いますが、最近は気象庁の発表も早くなってきており、自助意識も高くなっているとは思いますが。
- ・最近のメディアの報道では政局と異常気象の二本立てでコロナ関連は日常化してしまっており、報道における占有率は低くなってきたのかなあと感じます。
- ・報道を拡散するには、物事の本質をどこまで報じているのかが大切であり、正確な情報なくして正しい判断はできない、委員の皆さんは保険代理店を経営する方々なので、一番感じているのではないのでしょうか。
- ・広報委員会は、日本代協の情報発信の担い手としての役割があり、委員の皆さんはその役割を

果たして、日本代協のありのままを全国津々浦々の会員に伝えると同時に全国民に対し代理店の真の姿と存在価値を伝えていくミッションがあります。

・本日討議した「みなさまの保険情報」「PR 企画」も日本代協および都道府県代協の活動に広く呼応することで、消費者に保険代理をより身近に、その存在価値を伝える期待があります。

・デジタル化の優位性は、情報の双方向にあると言われております。発信した情報による反響や様々な意見を集積し分析することで新たな発想に結び付けていくことがデジタル化の本質と言えるのではないのでしょうか。

・広報委員会の皆さんは情報発信の担い手であると同時に各ブロックの情報を日本代協にフィードバックして、その情報を集積・分析し代協の諸活動を活性化させていくことに引き続きご尽力賜るよう、お願いします。

以上

次回開催日 2021年1月21日(木)13:30～17:00